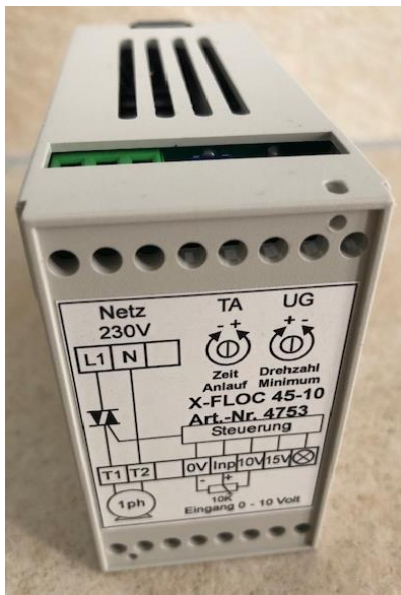


## M99-DS ブLOWER・スピード・コントローラー / 回転数調節

バイパス回路(スピードコントローラー XF45-10 & XF45-15)

※これは、「マシンの緑のコントロールランプは点灯するが、ブローワーが動かない」時のための応急措置です。



### 説明:

このバイパス回路の目的は、スピードコントローラーが故障した場合でも、故障部品が交換されるまで X-FLOC ブローイングマシンの動作を維持することです。

ただし、当該部品が故障の原因として既に特定されている場合に限ります。

通常、アナログ空気設定値(KFB/FFB/ポテンショメータ)を介して制御されるブローイングマシンのラジアルファンは、主電源で直接動作します(100% / ブースト)。

これにより、ソフトスタート機能(上流の保護デバイスに関連)も無効になります → 望ましくないつまりずきの可能性があります。

内蔵ブローワーセレクタースイッチは引き続き機能します。

### 注意:

機械の電気機器の修理およびメンテナンスに関する国内法及び規制を遵守する必要があります。

### 必要なツール:

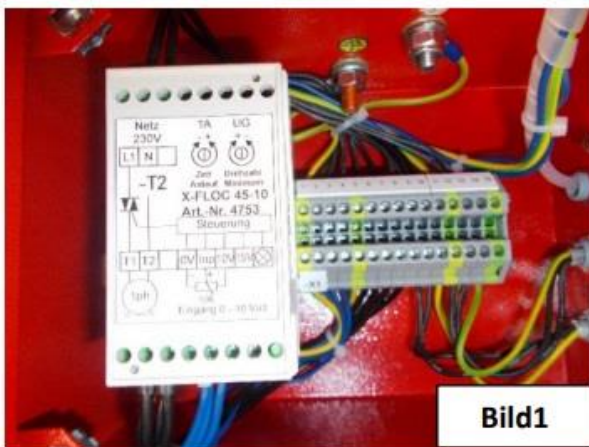
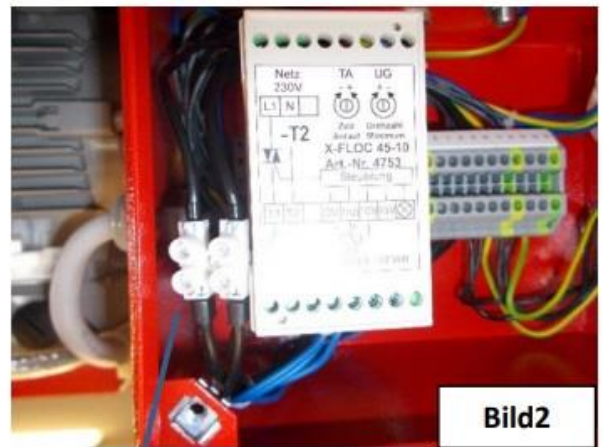
- ドライバー (溝 ≤ 3.5mm)
- 2つ折りブロックまたは直列端子(最小 230VAC/16A // 1.5mm<sup>2</sup>、ツインワイヤエンドスリーブ)
- サインペン、マーカーなど。

**方法:**

- ブローイングマシンを電源から切り離します（プラグを抜きます）。
- ブローイングマシンおよび設置状況に応じて、スピードコントローラーの位置が異なります。スイッチボックス内、または、追加設置ボックス内にあります。（画像 Bild1 を参照。ここでは M99-DS の「-T2」）。
- ドライバーを使用して、端子 L1、N、T1、T2 から主回路の黒いコアを緩め、取り外し、それに応じてマークを付けます（後で必ず正しく配線できるように目印を付けて下さい）。ワイヤをブロック端子に接続するか、元の端子のワイヤ（L1→T1 および N→T2）の間に電気接続ができるようにまとめます。

**注意:**

配線を混同すると、危険な状況や機械の電気機器の損傷につながる可能性があります。

**Bild1****Bild2**

バイパス端子  
Bypass-klemmen

- 電線が潰れたり、ねじれたり、損傷したりしないように注意しながら、コントロールボックスまたはカバーを閉じます。
- 必要に応じて、保護導体および絶縁テストを実行し、機械の機能をチェックしてください。